オーエンスレーガー賞受賞者

回	受賞年	受賞者	研究業績
第1回	1958	田中　胖	透明ゴムの研究
第2回	1960	神原　周	加硫ゴムの構造に関する研究
第3回	1962	古川　淳二	新しいゴム用薬剤及び充填剤に関する研究
第4回	1964	大北　忠男	チウラム加硫ゴムと多硫化物合成ゴムの研究
第5回	1966	箕浦　有二	ゴムのグラフト重合とブレンドに関する研究
第6回	1968	山下　晋三	ゴムの老化防止と加硫に関する基礎的研究
第7回	1970	大北　熊一	カーボンブラックの遊離ラジカルとグラフト重合
第8回	1972	釼　実夫	ゴムの加硫と酸化及びゴムに対する放射線効果
第9回	1974	藤本　邦彦	加硫ゴムの不均質構造と物性に関する研究
第10回	1976	二宮　和彦	高分子レオロジーのゴム加工技術研究への応用
第11回	1978	村上　謙吉	ゴム状高分子のケモレオロジーに関する研究
第12回	1980	中村　儀郎	トリアジンチオール化合物のゴム用薬剤としての応用に関する研究
第13回	1982	田中　武英	ポリウレタン系合成ゴムに関する研究
第14回	1984	岡本　弘	ゴムの化学改質とエラストマーの特性
第15回	1986	小倉　協三	イソプレン単位の生化学的重合に関する研究
第16回	1988	田中　康之	ゴム状ポリマーの構造化学的研究
第17回	1990	山崎　升	ゴム及び関連化合物の合成とその応用
第18回	1992	森　邦夫	固体の表面・界面制御とゴム工業への応用に関する研究
第19回	1994	鞠谷　信三	高性能および高機能エラストマー開発の基礎的研究
第20回	1996	奥本　忠興	高分子のキャラクタリゼーションと高性能・高機能エラストマーの開発に関する研究
第21回	1998	西　敏夫	エラストマーの分子運動性と高次構造に関する研究
第22回	2000	井上　隆	多相系エラストマーの構造と物性に関する研究
第23回	2002	古川　睦久	ポレウレタンの構造と物性に関する研究
第24回	2004	内山　吉隆	ゴムの摩擦・摩耗に関する基礎的研究
第25回	2006	圓藤紀代司	ジエンモノマーの精密重合とゴム状ポリカテナンの合成
第26回	2008	井上　公雄	ゴム・プラスチック混練装置に関する研究
第27回	2010	伊藤　眞義	シリカ充てんゴム複合材料の構造と物性に関する研究
第28回	2012	五十野善信	フィラー未充てん並びに充てんゴムの非線形粘弾性に関する研究
第29回	2014	池田　裕子	ゴムの架橋に関する基礎研究
第30回	2016	長谷川博一	リビングアニオン重合により合成したゴムの相溶性に関する研究